

◆有料化全市実施説明会 Q&A

日時：平成 26 年 11 月 20 日（木） 午後 2 時から午後 3 時 30 分

場所：深沢学習センター

参加者：200 名

1 有料化 DVD 放映

2 ポイント説明

（有料化について、製品プラスチックとは、家庭でできる分別・減量の取組み）

3 質疑応答

Q スーパーで売っているトレイとサランラップはどのように捨てたらよいですか。

A トレイは容器包装プラスチックで上側のラップについては、汚れていれば燃やすごみ、汚れていなければ容器包装プラスチックとしてお出し下さい。

Q 町内会に入っている人と入っていない人がいますが、資料の全戸配布はどのようにされますか。

A 広報と同じ方法でポスティングします。

Q 紙が接着している製品プラスチックは収集されますか。

A 元々商品についているシールについては問題ありません。後から子供がシールを付けたものなどは、収集できません。

Q 製品プラスチックに金属などの異物が付いている場合、外せばポリプロピレンやポリエチレンの単一素材になる場合、外せば収集してもらえますか。

A 収集します。

Q 製品プラスチックについた泥はどの程度落とせばよいですか。

A ある程度落とすだけであれば収集します。

Q ルール違反のごみが出て、しばらく放置されることとなると、カラスがついばみ周辺環境が悪化すると思われるので、出来るだけ早く収集していただけないですか。

A ごみのごみを呼ぶという状況もあるので、クリーンステーションの状況に応じた対応をしたいと考えています。

Q 座布団やダウンジャケットは布類ではなく燃やすごみですか。

A 綿が入っているものは燃やすごみとなります。

Q 名越一炉で大丈夫なのでしょうか。新施設の整備状況を随時公開していただきたいです。

A 新施設の整備状況に係る情報については、随時お知らせしていくことになります。

Q 今回の有料化による減量効果はどの程度でしょうか。また、一定期間の検証を実施するとのことでしたが、検証結果については、いつ報告してもらえるのでしょうか。

A 家庭ごみの減量効果は 8 パーセント（約 2,000 トン）を見込んでいます。報告については、概ね半年を目途に報告したいと考えています。

Q 紙おむつの出し方を改めて確認させてください。

A 透明、半透明の袋に入れて燃やすごみの日に出して下さい。

Q 棒状のもの出し方について、巻ききれると巻ききれないの基準が分かりません。

A 棒状のものについては、指定袋を縛るか巻いて一部重なった（巻き切った）状態のものをテープ等で止めていただきます。

Q 透析等で使用した家庭医療用のごみは燃やすごみでよいのでしょうか。

A 燃やすごみとして出して下さい。

Q 電球、蛍光灯は有料ではないですか。

A 危険・有害ごみとなり無料です。購入した時の箱か紙に包んで出して下さい。

Q 不法投棄があった場合、市民が市役所に連絡をしなくてはいけないこととなっていますが、市職員全員が4月1日に早朝出勤し、立ち番をする等は出来ないのですか。

A 鎌倉市役所としても、具体的にそのような対応ができるかは不明ですが、事業者として減量に励むだけでなく、市役所全体でごみの有料化の普及啓発を進めて行きたいと思えます。

Q 風の強い翌日にはビニール傘を拾ってだすことがあります、どのように出せばよいでしょうか。

A 「清掃ごみ」として燃えないごみの日に出して下さい。

Q 家の前がクリーンステーションなので、大変な思いをしています。有料化は戸別収集とセットと考えていたのですが、不法投棄がある度にクリーンステーション付近の住民が電話をしなければいけない状況をどのように考えていますか。

A 分別が悪く、カラス被害の多いクリーンステーションはこちらでも把握していますが、現状把握に漏れがあることも想定されますので、不法投棄が頻繁にあるような場合は、お手数ですが電話にて連絡をいただきたいと思えます。

Q 製品プラスチックの収集日はいつですか。

A 収集カレンダーを12月15日に全戸配布しますので、そちらでご確認下さい。

Q 袋の厚みは何ミリメートルですか。

A 0.025ミリメートルです。他市を参考にしています。

Q モデル地区は続くのでしょうか。

A 市としては戸別収集+有料化による検証ができることから、一定期間続けていきたいと考えています。

Q 有料化による収入はどのように使われるのですか。

A 有料袋（指定収集袋）の製造、流通、販売に係る費用や焼却施設の整備費用、さらに減量化施策を進める上で必要となる費用へ充てていきます。

なお、有料化による歳入については、年度によって上下があると考えられますが、約3億5,000万円の歳入のうち、約1億円が有料袋（指定収集袋）に係る費用となり、残りの多くが焼却施設の整備費用に充てられる見込みです。

新焼却施設については、今年度末頃に計画が策定されることから、施設整備への具体的な積立も含め、歳入の使途については今後、皆さまに分かる形でお示ししていきます。